

可視化のすすめ

～長崎県の普及啓発～

長崎県 土木部 都市政策課

i-都市交流会議2020

1

1. 長崎県での都市構造可視化ツールの普及啓発

あの手この手で、県内の自治体へ普及啓発中

1. 長崎県内自治体への可視化ツールの普及啓発

- ①都市計画よろず相談会
- ②立地適正化計画勉強会
- ③長崎県都市計画担当者会議

2. 普及啓発の取組状況

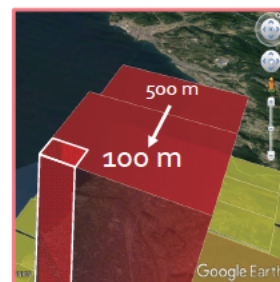
3. 都市構造可視化ツールに期待すること



県内自治体への普及啓発



普及啓発の取組



可視化ツールへの期待

補注：都市構造可視化計画、地図は©2019 ZENRIN, Data Japan Hydrographic Association, Google Earthを使用

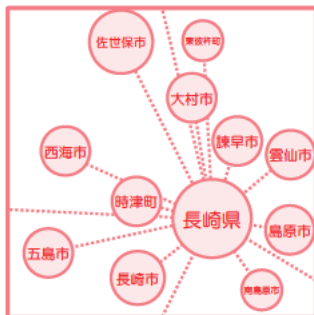
i-都市交流会議2020

2

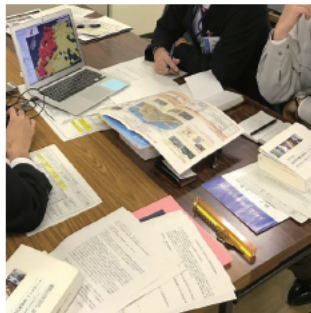
1.可視化ツールの普及啓発(1/3)

①都市計画よろず相談会

- ・県内の市町を訪問し、担当職員と都市計画全般の意見交換を行っている。このとき、担当職員に都市構造可視化ツールの有用性を紹介。
- ・平成30年度から可視化ツールを紹介しており、計18回の普及啓発を実施。



県内自治体を訪問



意見交換の様子



都市構造可視化の紹介

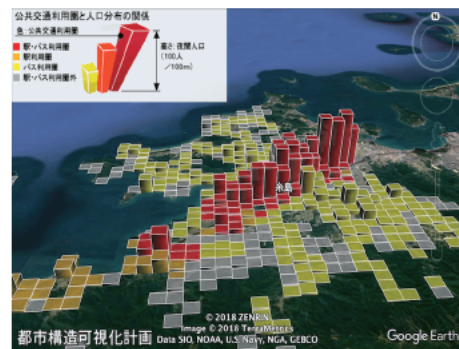
1.可視化ツールの普及啓発(2/3)

②立地適正化計画勉強会

- ・計画作成を検討している市町を訪問し、事例紹介や課題に対する意見交換を行っている。（平成30年度から、合計36回開催）
- ・可視化ツールが庁内説明時等に活用できることを紹介。



県内自治体を訪問し、意見交換を実施



概要説明

1.可視化ツールの普及啓発(3/3)

③長崎県都市計画担当者会議

- ・県内の市町を招き、毎年開催している会議。
- ・都市計画に関する最新の話題提供や立地適正化計画の推進を行っている。
- ・平成30年及び令和元年には、九州地方整備局御担当から都市構造可視化ツールを紹介いただくとともに、長崎県が都市構造可視化ツールを実演。
- ・各市町の市街地の状況が把握できるため、各自治体の庁内で政策立案などに広く活用いただくよう呼びかけた。



会議資料



九州地方整備局からの紹介



長崎県の可視化ツール実演

2.普及啓発の成果

県内市町での活用状況

- ・県下自治体で、庁内での政策説明や立地適正化計画の説明の際に可視化ツールが活用されている。



県内自治体での活用
(庁内での政策説明)

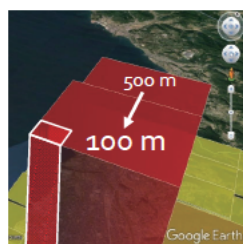


県内自治体での活用
(立地適正化計画の説明)

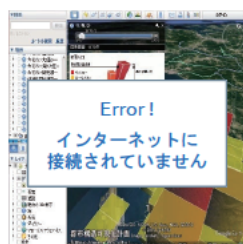
3.都市構造可視化を使って感じた課題

都市構造可視化に期待すること

- ・メッシュの細分化（人口規模や市街地が狭い自治体への対応）
- ・ネットワーク環境がない場所でも利用できる仕様（事前ダウンロード等）
- ・都市計画基礎調査や都市計画現況調査(都市計画年報)のデータを、自治体職員が自らが都市構造可視化ツールに取り込めるシステムの開発
- ・都市計画以外の行政職員や一般の方への「都市構造可視化ツール」の周知



メッシュの細分化



ネットワーク環境



都市計画年報の反映



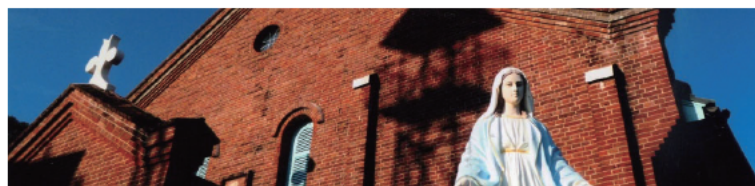
広く一般へ周知

補注：都市構造可視化計画、地図は©2019 ZENRIN, Data Japan Hydrographic Association, Google Earthを使用

長崎よかところ！

ながさきサンセットロードフォトコンテスト

長崎県西部の美しい海岸沿いの道路（国道202号、国道499号など）をメインルートに、夕日や教会、橋などの地域資源を活用し、関係行政や地域の方と協働しながら、沿道景観の保全・整備や様々な活動に取り組んでいます。



黒崎教会（長崎市）



軍艦島（長崎市）



片島（川棚町）

長崎県 土木部 都市政策課

まちづくりの絵コンクール

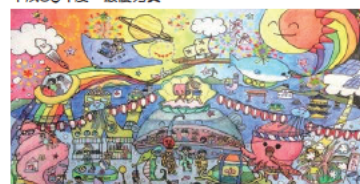
これからの時代を担う子供たちのまちづくりに対する関心を高めるため、絵のコンクールを実施しています。



平成29年度 最優秀賞



平成30年度 最優秀賞



平成31年度 最優秀賞